

**製品名: ChoKB ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08773**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHKB
別名	CHKB; CHETK; CHKL; Choline/ethanolamine kinase; Choline kinase beta; CK; CKB; Choline kinase-like protein; Ethanolamine kinase; EK; Ethanolamine kinase beta; EKB; choline/ethanolamine kinase beta; CKEKB
遺伝子 ID	1120.0
SwissProt ID	Q9Y259
免疫原	抗血清はヒト CHKB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

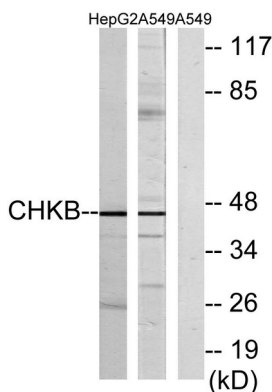
**背景**

コリンキナーゼ (CK) とエタノールアミンキナーゼ (EK) は、コリン / エタノールアミンからホスホコリン / ホスホエタノールアミンへのリン酸化を触媒します。これは、あらゆる動物細胞におけるホスファチジルコリン / ホスファチジルエタノールアミンの生合成において最初の酵素です。哺乳類由来の高度に精製された CK およびその組換え遺伝子産物は、EK 活性も有することが示されており、両方の活性が同一タンパク質に存在することを示しています。CHKL によってコードされるコリンキナーゼ様タンパク質は、コリン / エタノールアミンキナーゼファミリーに属しますが、その正確な機能は不明です。この遺伝子座からは、下流の CPT1B 遺伝子座のエクソンを含むリードスルー転写産物が発現されます。[RefSeq 提供、2009 年 6 月],触媒活性:ATP + コリン = ADP + O-ホスホコリン。触媒活性:ATP + エタノールアミン = ADP + O-ホスホエタノールアミン。触媒活性:パルミトイル CoA + L-カルニチン = CoA + L-パルミトイルカルニチン。その他:このタンパク質は、非重複リーディングフレームから CHKB タンパク質も生成するバイシストロニック遺伝子によって生成されます。その他:このタンパク質は、非重複リーディングフレームから CPT1B タンパク質も生成するバイシストロニック遺伝子によって生成されます。経路:脂質代謝; 脂肪酸ベータ酸化。類似性:カルニチン/コリンアセチルトランスフェラーゼファミリーに属します。類似性:コリン/エタノールアミンキナーゼファミリーに属します。組織特異性:心臓と骨格筋で強く発現します。肝臓、腎臓では発現しない。

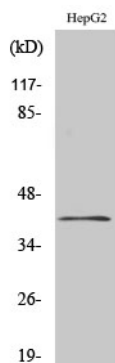
## 研究分野

脂肪酸代謝;グリセロリン脂質代謝;PPAR;アディポサイトカイン;

## 画像データ



CHKB 抗体を用いた HepG2 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ChoKB ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析